

趣意書「水木洋子市民サポーターの会」に入りませんか？

「ひめゆりの塔」「裸の大将」「純愛物語」「竜馬がゆく」など、映画やドラマの脚本家として知られる水木洋子さんは、1947（昭和22）年から市川市八幡に住まい、ここから数多くの名作を生み出しました。戦後の日本映画の黄金時代を担った一人であると同時に、女性脚本家の草分けでもありました。

1997（平成9）年、自宅や自筆原稿、蔵書などを含む所有財産の全てを、将来、市川市に寄附する契約を交わして、2003（平成15）年4月、92歳の生涯を閉じました。

2000（平成12）年8月、市川市により「シナリオ作家／水木洋子の世界展」が開催され、市の呼びかけに応じた市民が、水木洋子市民サポーターとして、資料整理や企画事業のサポートを開始しました。資料整理や水木邸の管理などを進める中で、水木さんのさらなる魅力を再確認し、行政と連携しながら、水木さんについての調査・研究・普及活動を行い、水木さんの業績を広く顕彰し、市川の文化振興ならびに脚本文化の振興に寄与することを目的に、2002年5月15日に「水木洋子市民サポーターの会」を設立しました。

市では水木さんの資産をもとに「市川市水木洋子文化基金」を設置し、2004年11月には市川市名誉市民に選びました。2005年10月からは市川市文学プラザと水木邸を拠点に、2013年7月には文学ミュージアムが開館し、さまざまな事業や展示などの顕彰活動を行っています。

水木さんの業績は、市川の文化にとっても、日本の脚本文化にとっても、決して忘れてはならないものと思われまます。これらの業績を広く知らせることは、私たちの役割と考えまます。

この趣旨に賛同してくださるかたに呼びかけ、協力してくださるかたを募りまます。

水木洋子市民サポーターの会 事務局 文学ミュージアム内

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 電話047-320-3334

年会費 1000円

- 会員になると・・・
- 水木さんに関するイベント情報などを定期的に見ることができまます
 - 水木さんに関するイベントに、優先的に参加できまます
 - 水木さんの顕彰事業などに、サポーターとして関わられまます
 - 水木邸や文学ミュージアムで行う水木洋子のボランティア活動に参加できまます
 - 水木さんの遺品に直接触れ、資料の整理や調査ができまます
 - 会員相互の交流を深め、楽しい時間が過ごせまます

以下を記入し、1000円を添えて、文学ミュージアムへお持ちください

キ リ ト リ

領 収 書

様

1,000円
但し2015年度会費
として
2015年 月 日

水木洋子市民
サポーターの会

会の趣旨に賛同し「水木洋子市民サポーターの会」
に入会しまます。

《 新規 ・ 更新 》 ○印をおつけください。

2015年 月 日

氏 名

住 所 〒

電 話

(FAX)

E-mail

個人情報、会の連絡以外使用しませぬ。

会員へ配布する名簿に電話番号の掲載を 承諾しまます・承諾しませぬ
(どちらかに○をつけてください)